

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	3 夢のふくらむ港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	港営部 関連事業担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	14 スポーツ・レクリエーションの場を充実する		継続	維持	拡大	連絡先 連携課	052-654-7836
事務事業名	02 運動施設・緑地等の管理運営					事業 期間	平成18年度～継続
目的	運動施設・緑地等(ガーデンふ頭臨港緑園、富浜緑地、新舞子マリンパーク等、計19緑地、約173ha)を効率的・効果的に管理運営し、多くの人が利用する施設にします。					根拠 法令等	指定管理者による公の施設の 管理に関する条例、名古屋港 管理組合臨港緑地条例
概要	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の 良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の 実施予定	24年度に引き続き、定期的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。 また、高質な利用者サービスが維持できるように、老朽化した施設を順次補修していきま す。					関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に 実施した 内容・結果	ソフト面では、定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と 高質な利用者サービスを提供しました。 ハード面では、利用者の要望により、富浜緑地の運動施設(運動広場・テニスコート)の改修工事を実施しました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	292,517	170,899	161,646	187,321	417,635	1,230,018	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/環境整備費/委託料 (ホーネットス37,488千円、緑地保全50,320千円、日鏡49,499 千円、みなと55,900千円 計183,211千円)
一般会計	千円	292,517	170,899	161,646	187,321	417,635	1,230,018	建設費/整備費/環境整備費/工事請負費 (海づり除去工事106,000千円、富浜緑地改修工事等74,025 千円、ゴルフ場空調17,181千円、マリンパーク防犯カメラ22,229千 円、フットデッキ758千円、木曜便所4,231千円 計224,424千円)
事業会計	千円							(算出計式)
その他	千円							(その他)
人員費計	千円	10,298	16,368	16,637	16,822	16,907	77,032	平成22年度から指定管理者が3者となったことによる業務量の増 加 工事請負費は平成24年度より計上して記入してあります。
正規職員	人	1.20	1.93	1.93	1.93	1.93		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	302,815	187,267	178,283	204,143	434,542	1,307,050	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
定例会議・モニタ リング回数(回)	目標	39	39	63	63	63		63	22年度から指定管理者が3者とな ったため。 調整連絡会議12回+モニタリン グ17回×3者=63回
	実績	40	70	63	63	63			
	達成率(単年度%)	102.6	179.5	100.0	100.0	100.0			
利用者数(千人)	目標	490	490	490	490	490		490	全緑地の利用者数の合計 (ゴルフ場を含む)
	実績	502	477	481	496	357			
	達成率(単年度%)	102.4	97.3	98.2	101.2	72.9			
達成率(累計%)	-	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要 性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	現政策体系の5年間に於いて、緑地は、個別施策の「スポーツ・レクリエ ーションの場を充実する」に対して、子供から大人まで、多くの人が訪れる施設 であります。						
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	今後も、本組合として、利用者の高いニーズがあることから事業を実施して いく必要があり、次期政策体系においても、引き続き取り組んでいきたいと考 えています。						
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
有 効 性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	現政策体系の5年間に於いて、利用者数の5年間の累計は2,450千人、実績 2,313千人となり目標を達成することができませんでした。						
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	利用者が減少した要因は、海釣り公園の停止(平成24年利用者実績126千 人)によるものであり、他の運動施設・緑地については、ほぼ目標とおりの利 用率でありました。						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
効 率 性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	現政策体系の5年間に於いて、平成22年度から平成25年度は、二期目の指 定管理者となりました。						
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	この制度を導入していることから、最小のコストで最大の効果をあげられたと 考えております。						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続	➡	➡	海づり公園(H24利用者126千人)の停止により利用者が減少しましたが、 本施設は指定管理者により良好に運営されているため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
目標の利用者数が達成できるように、毎月のモニタリングで指導・助言を行う。また、施設の良好な維持管理及び高質な利用者サー ビスを提供できるように指定管理者と協議していきます。				